

交野市埋蔵文化財調査報告 2007-I

平成19年度

交野市埋蔵文化財発掘調査概要

2008. 3

交野市教育委員会

例　　言

- 1 本書は、交野市教育委員会が平成 19 年度国庫補助事業（事業総額 1,000,000 円 国庫補助率 50% 市負担率 50%）として計画・実施した交野市内における埋蔵文化財発掘調査の概要報告である。
- 2 発掘調査は交野市教育委員会が調査主体となって実施した。
- 3 本書で使用した方位は、磁北方位である。
- 4 断面図は土層の堆積を模式図で表した。
- 5 各図における（ ）書きは縮尺を表す。

目 次

例 言

目 次

第1章	埋蔵文化財発掘調査の状況	1
第1節	交野市の位置と環境	1
第2節	遺跡の分布状況	1
第3節	調査の状況	1
第2章	発掘調査報告	8
第1節	森遺跡	8
挿 図		
第1図	交野市内遺跡分布図	7
第2図	森遺跡 2007-3次 調査地位置図・平面図及び断面図	9
第3図	調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図(1)	10
第4図	調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図(2)	11
第5図	調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図(3)	12
第6図	調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図(4)	13
第7図	調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図(5)	14
第8図	調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図(6)	15
第9図	調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図(7)	16
第10図	調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図(8)	17
第11図	調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図(9)	18
第12図	調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図(10)	19
第13図	調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図(11)	20

挿 表

第 1 表 平成 19 年度発掘調査一覧(1).....	3
第 2 表 平成 19 年度発掘調査一覧(2).....	3
第 3 表 平成 19 年度発掘調査一覧(3).....	4
第 4 表 平成 19 年度発掘調査一覧(4).....	5
第 5 表 平成 19 年度発掘調査一覧(5).....	6

図 版

図版 1 森遺跡 2007-3 次調査 調査地.....	21
図版 2 森遺跡 2007-3 次調査 トレンチ全景.....	21
図版 3 森遺跡 2007-3 次調査 西壁断面.....	22
図版 4 森遺跡 2007-3 次調査 南壁断面.....	22

報告書抄録.....	23
------------	----

第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況

第1節 交野市の位置と環境

交野市は、大阪府の東北部、大阪と京都のほぼ中間に位置する人口約8万人規模の都市である。東は生駒山系を境にして奈良県生駒市と、西は寝屋川市、南は四條畷市、北は枚方市に接している。大阪市、京都市、奈良市いずれまでの距離が約20kmで、市の東部は関西文化学術研究都市区域となっている。市域は、東西5.4km、南北6.8km、面積25.55km²で、そのおよそ半分を山地が占めている。山地部は、風化の進んだ花崗岩からなり、多くの急渓流が分布し、平野部は洪積層および沖積層から成り立っている。河川は寝屋川流域の傍示川のほかは、天野川流域でいずれも淀川水系に属する。

土地利用としては、市域の約半分を占める山地のうち、一部が宅地化しているものの、国定公園をはじめとする土地利用規制や府民の森として植生が保持されている。平野部は宅地、鉄道駅周辺や幹線道路沿道付近に商業業務地として利用され、工業地は平野部でも計画的に整備された星田北、幾野地区における工場適地に集積している。

第2節 遺跡の分布状況

周知の遺跡は約67箇所を数える。これらの遺跡の大部分は、交野が原と呼ばれる台地部や生駒山地の山麓部分にある。大阪府下でも屈指の古い石器が出土した旧石器・縄文時代の神宮寺遺跡をはじめ、弥生時代～中世・近世の私部城遺跡、上の山遺跡、森遺跡、天田神社遺跡などの集落遺跡、前期古墳の森古墳群、中期の交野車塚古墳群や後期の倉治古墳群・寺古墳群などの古墳、近世の平城である私部城跡などがある。また中世・近世の東高野街道の街道筋にもあたっている。

第3節 調査の状況

交野市教育委員会では平成19年4月1日から平成20年2月29日に至る間、森遺跡他22件の補助事業に係る発掘調査を実施した。埋蔵文化財の届出件数は、平成20年2月29日現在で79件であり、昨年の同時期における届出件数が267件である

ことから、届出件数は減少しているといえる。

工事の種別では、個人住宅建設が全体の2割、分譲住宅建設が4割、その他4割となっている。ここ数年のデータでは1000m²以上の土地の大規模宅地造成の増加に伴い、分譲住宅の建設が多かったため届出件数は増加傾向を示していたが、今年は宅地造成・分譲住宅の件数が減少し、届出件数も減少したと考えられる。

遺跡別に見てみると届出件数の最も多かったのは、交野郡衙跡16件、ついで森遺跡13件、私部南遺跡10件、坊領遺跡6件、星田旭遺跡6件と続く。特に星田旭遺跡の場合は、昨年から引き続き大規模宅地造成に伴う分譲住宅建設の届出が大半を占めており、今後もこのような傾向が見られるものと思われる。なお届出の内訳は、確認調査26件、立会調査4件、慎重工事49件となっている。

今年度補助事業に係る確認調査の対象となった遺跡は、交野郡衙跡、天田神社遺跡、森遺跡、寺村遺跡、でがしろ遺跡、ハセデ遺跡、坊領遺跡、郡津渋り遺跡、星の森遺跡、神宮寺遺跡、上の山遺跡、有池遺跡、東倉治遺跡、の13遺跡22件である。このうち遺構確認のため調査範囲を広げた遺跡は森遺跡 2007-3次調査のみであった。調査内容については、8ページに記述した。各調査の詳細については別に一覧表を記載した。

平成 18 年度届出分

	調査日	遺跡名	調査地	調査内容
1	19. 4. 24	森遺跡 2007-1 次	森南 2 丁目 459-2	調査地中央に約 1.5×0.9m のトレンチを設定し、人力にて約 0.5m 掘削を行なう。全て盛土で遺構・遺物は検出しなかった。

第 1 表 平成 19 年度発掘調査一覧 (1)

平成 19 年度届出分

	調査日	遺跡名	調査地	調査内容
2	19. 5. 7	森遺跡 2007-2 次	私市 2 丁目 1193-5 の一部、1194-8	調査地東側に約 1.5×1.0m のトレンチを設定し、人力にて約 0.6m 掘削を行なう。全て盛土で遺構・遺物は検出しなかった。
3	19. 5. 8	でがしろ遺跡 2007-1 次	私部 1 丁目 1211 (1 号地)	調査地西側に約 1.2×1.0m のトレンチを設定し、人力にて約 0.6m 掘削を行なう。全て盛土で遺構・遺物は検出しなかった。
4	19. 5. 8	でがしろ遺跡 2007-2 次	私部 1 丁目 1211 (2 号地)	調査地南側に約 1.5×1.0m のトレンチを設定し、人力にて約 0.6m 掘削を行なう。全て盛土で遺構・遺物は検出しなかった。
5	19. 5. 22	ハセデ遺跡 2007-1 次	郡津 5 丁目 1047-7、 1050-4	調査地北側に約 3.7×2.8m のトレンチを設定し、人力にて約 0.7m 掘削を行なう。第 1 層は盛土、第 2 層は耕作土、第 3 層で粘質土の地山を検出した。第 3 面で流路状の遺構を検出した。遺物は検出しなかった。
6	19. 6. 19	坊領遺跡 2007-1 次	藤が尾 6 丁目 193-5、-1 の一部、-3 の一部	調査地北側に約 2.0×1.3m のトレンチを設定し、重機にて約 1.7m 掘削を行なう。第 1 層は粘質土、第 2 はシルト混粘質土、第 3 層はシルト、第 4 層はシルト混細砂が堆積していた。遺構・遺物は検出しなかった。

第 2 表 平成 19 年度発掘調査一覧 (2)

	調査日	遺跡名	調査地	調査内容
7	19. 6. 19	交野郡衙跡 2007-1次	郡津1丁目 401-3	調査地西側に約1.5×0.9mのトレンチを設定し、人力にて約0.7m掘削を行なう。全て盛上で遺構・遺物は検出しなかった。
8	19. 7. 20	郡津汲り遺跡 2007-1次	郡津2丁目 51-8	調査地中央に約1.3×5.4mのトレンチを設定し、重機にて約1.5m掘削を行なう。第1層は盛土、第2層は砂が堆積していた。遺構・遺物は検出しなかった。
9	19. 7. 31 ~ 8. 1	森遺跡 2007-3次	森南1丁目 227	詳細はP 8に記す。
10	19. 9. 7	星の森遺跡 2007-1次	星田7丁目 2080-14、- 15、2084-3	調査地南側に約1.8×1.5mのトレンチを設定し、重機にて約0.8m掘削を行なう。第1層は盛土、第2層は耕作土、第3層は粗砂混シルト、第4層は砂質土が堆積していた。遺構・遺物は検出しなかった。
11	19. 9. 10	東倉治遺跡 2007-1次	東倉治3丁目 2063-3、 2066-2、 2067-1、 3016の一部	調査地南側に約2.5×1.5m(1tr)、北側に約3.3×1.8m(2tr)のトレンチを設定し、重機にて約2.0m掘削を行なう。1trは全て盛土であった。2tr下層からはシルトの地山を検出した。遺構・遺物は検出しなかった。
12	19. 9. 14	交野郡衙跡 2007-2次	幾野2丁目 2020、2023- 1、2024-1	調査地北側に約2.7×2.1m(1tr)、約2.0×1.9m(3tr)のトレンチ、南側に約2.4×2.2m(2tr)を設定し、重機にて1・2tr約0.8m、3tr約0.3m掘削を行なう。第1層は耕作土、第2層～4層は砂礫混粘質土、第5層は砂礫が堆積していた。第2層より遺物を検出した。遺構は検出できず、すでに削平されてしまっている可能性がある。

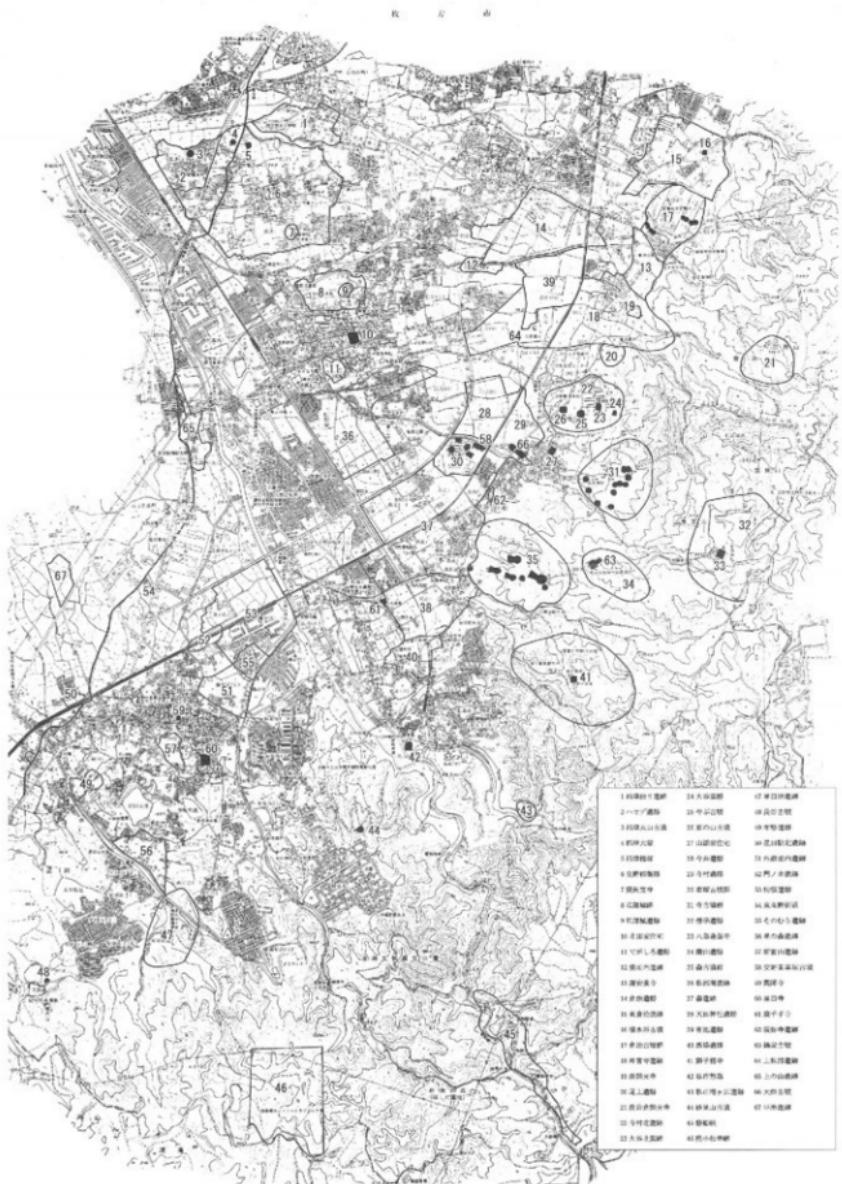
第3表 平成19年度発掘調査一覧（3）

	調査日	遺跡名	調査地	調査内容
13	19.10.9	東倉治遺跡 2007-2次	東倉治3丁目 2116-4、 2117-1、 2118-3	調査地西側に約4.9×1.9mのトレーナーを設定し重機にて約1.2m掘削を行なう。第1層は砂、第2層は粘土、第3層は砂質土が堆積していた。遺構・遺物は検出しなかった。
14	19.10.22	天田神社遺跡 2007-1次	私市4丁目 121-1外	調査地中央に約2.5×2.3m(1t r)、北側に約2.6×2.0m(2t r)のトレーナーを設定し重機にて約0.8m掘削を、人力にて精査を行なう。第1層は耕作土、第2層は砂質土、第3層は砂質土、第4層は砂礫混シルト、第5層は砂礫混シルト、第6層は粘土が堆積していた。遺構・遺物は検出しなかった。
15	19.10.30	神宮寺遺跡 2007-1次	神宮寺1丁目 297-1	調査地南側に約2.0×1.0mのトレーナーを設定し重機にて約0.7m掘削を、人力にて精査を行なう。第1層は盛土、第2層は礫混粗砂、第3層は粗砂、第4層は粘質土混粗砂、第5層はシルト混粗砂、第6層はシルト混砂礫、第7層は細砂混砂礫が堆積していた。第6面と7面で流路を検出した。遺物は検出しなかった。
16	19.11.16	森遺跡 2007-4次	森南1丁目 383-2、384、 390-4	調査地南側に約1.6×1.5mのトレーナーを設定し重機にて約1.0m掘削を、人力にて精査を行なう。1層は盛土、第2層はブロック状の粘質土を含む砂礫混シルトが堆積していた。すでに攪拌をうけており、2面上で遺構を検出することは出来なかったが、2層に包含されるブロック状の粘質土は遺構の埋土であったと考えられる。土師器片を第2層中より検出した。

第4表 平成19年度発掘調査一覧(4)

	調査日	遺跡名	調査地	調査内容
17	19. 11. 30	交野郡衙跡 2007-3次	郡津3丁目 999-20	調査地中央部に約2.2×2.2mのトレンチを設定し重機にて約0.6m掘削を行なう。第1層は盛土、第2・3層には砂礫が堆積していた。3層より下層はシルトとなる。遺構・遺物は検出しなかった。
18	19. 12. 14	交野郡衙跡 2007-4次	幾野2丁目 2023-4	調査地西側に約1.1×0.7mのトレンチを設定し人力にて約0.7m掘削を行なう。第1層は盛土、第2層は耕作土、第3層は粘土質砂が堆積していた。遺構・遺物は検出しなかった。
19	19. 1. 18	上の山遺跡 2007-1次	私部西4丁目 1060-14、-5、1054-4	調査地南側に約2.0×1.5m(1t r)、北側に約2.0×1.5m(2t r)のトレンチを設定し重機にて約1.3m掘削を行なう。第1層は盛土、第2層は粘土、第3層は砂礫が堆積していた。遺構・遺物は検出しなかった。
20	20. 1. 21	寺村遺跡 2007-1次	寺1丁目 9-10	調査地中央に約1.5×1.0mのトレンチを設定し重機にて約0.5m掘削を行なう。全て盛上で遺構・遺物は検出しなかった。
21	20. 1. 25	有池遺跡 2007-1次	青山5丁目 2340	調査地中央に約3.0×1.8mのトレンチを設定し重機にて約1.8m掘削を行なう。第1層は盛土、第2層は耕作土、第3層はシルトが堆積していた。遺構・遺物は検出しなかった。
22	20. 2. 20	森遺跡 2007-5次	私市2丁目 1200-5	調査地北側に約1.2×1.0mのトレンチを設定し人力にて約0.8m掘削を行なう。第1層は盛土、第2層は粘土が堆積していた。遺構・遺物は検出しなかった。

第5表 平成19年度発掘調査一覧（5）



第1図 交野市内遺跡分布図 (1/30,000)

第2章 発掘調査報告

第1節 森遺跡

遺跡の概要

森遺跡は、交野市内の中部に位置し、弥生時代から中世にかけての複合遺跡として古くから知られている。近年 J R 河内磐船駅前の開発が進み、これに伴う発掘調査により多数の鍛冶炉が発見され、古墳時代前期から後期に至る一大生産地・集落地の存在が確認された。その他にも平安時代頃と考えられる遺構も発見されており、市内でも有数の遺跡であることが判明している。

調査の概要

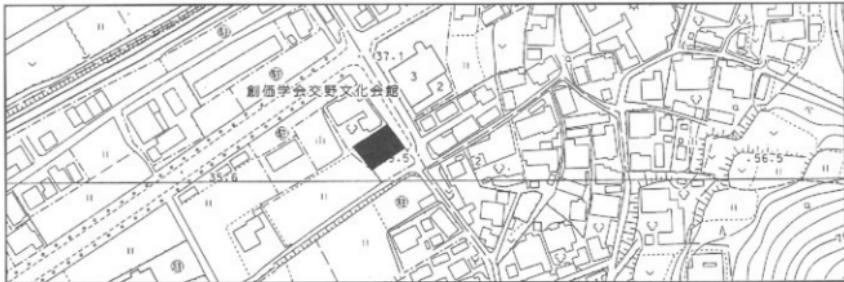
森遺跡 2007-3次調査（森南1丁目227）

福祉施設建設に伴い、確認調査を行なった。調査地の西側に約2.5×2.0mのトレンチを設定したのち、重機にて約0.8m掘削を行ない、人力にて遺構検出及び精査を行なった。

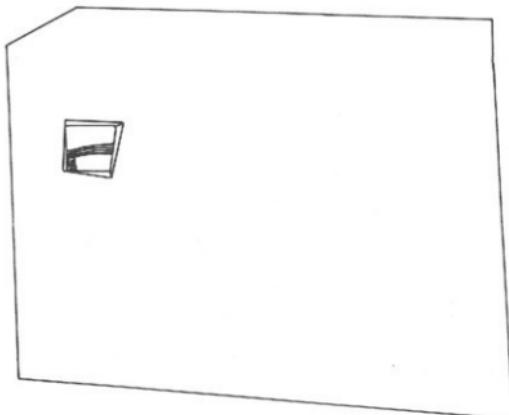
層位は7層に分けることができる。第1層は盛土、第2層は耕作土（旧水田）、第3層は明黄褐色（10YR6/8）の砂礫混シルト、第4層は灰黄褐色（10YR5/2）の粗砂混シルト、第5層はにぶい黄褐色（10YR5/4）の粗砂混シルト、第6層は黒褐色（10YR2/2）の砂礫混シルト、第7層は褐灰色（10YR4/1）の石混シルトであった。トレンチの一部を深く掘削したところ、褐灰色（10YR4/1）の砂礫混のシルト層がさらに深く堆積していることを確認した。

遺構としては第3面で中世の鰐溝を、第6面より東西方向の溝1条と南北方向の溝1条、ピット2基を検出した。一部深く掘削したことにより、第7層より下層は流路となることが確認できた。遺物は第3層より土師器片を第6面の東西方向溝内より土師器片を検出した。

出土した遺物が微細であるため時代の特定は困難であるが、下層になるにつれシルトが堆積することから、もとは水場であったと考えられる。この周囲は安定した地盤ではなく、住居地として利用するには適さないため中世になつても耕作地として利用されたと考えられる。

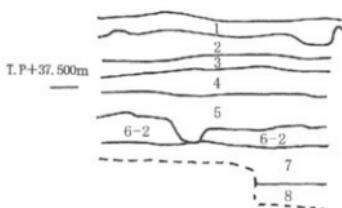


(1/2500)

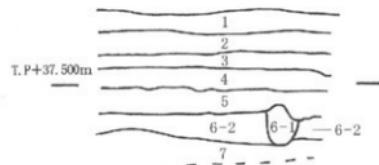


(1/300)

西壁断面 (1/40)



南壁断面 (1/40)



1 表土

2 耕作土

3 砂礫混シルト 10YR6/8 明黄褐

4 粗砂混シルト 10YR5/2 灰黄褐

5 粗砂混シルト 10YR5/4 にぶい黄褐

6-1 砂礫混粘質シルト 10YR2/3 黒褐

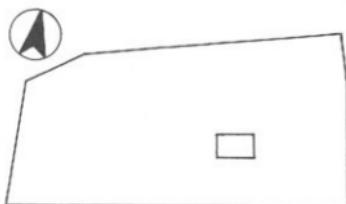
6-2 砂礫混シルト 10YR2/2 黒褐

7 石混シルト 10YR4/1 暗灰

8 砂礫混シルト 10YR4/1 暗灰

第2図 森遺跡 2007-3次 調査地位置図・平面図及び断面図

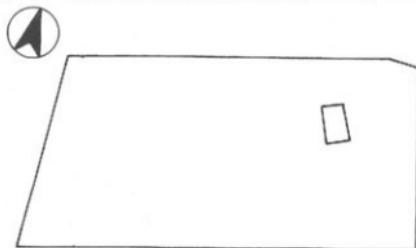
森遺跡 2007-1 次調査 (平面: 1/200 断面 縦: 1/20)



1

1 表土

森遺跡 2007-2 次調査 (平面: 1/200 断面 縦: 1/20)



1

1 表土

第3図 調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図（1）

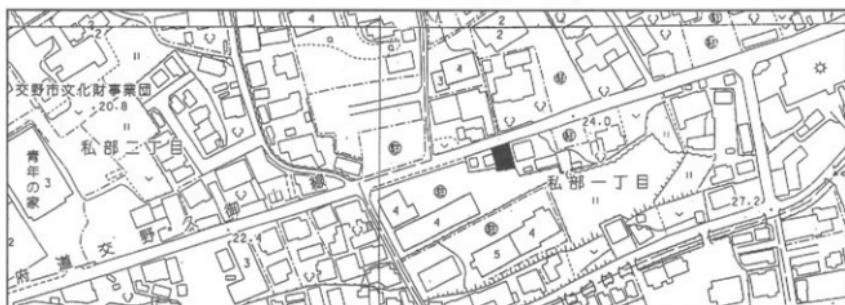
でがしろ遺跡 2007-1 次調査 (平面: 1/200 断面 縦: 1/20)



1

1 表土

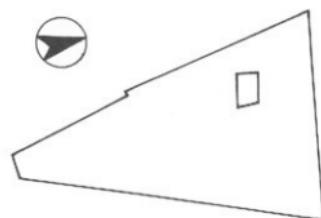
でがしろ遺跡 2007-2 次調査 (平面: 1/200 断面 縦: 1/20)



1

1 表土

第4図 調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図（2）

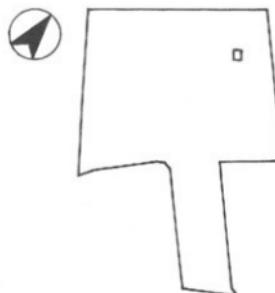
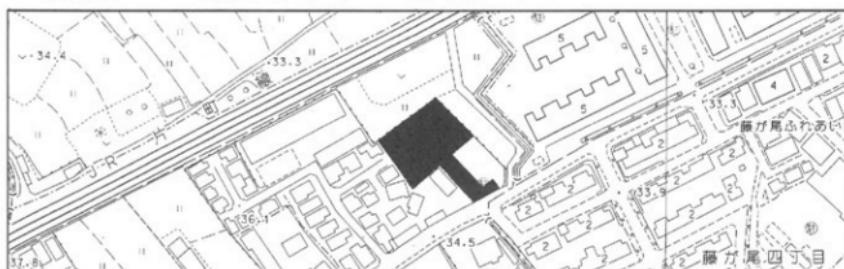


1

2

3

- 1 表土
- 2 稲作土
- 3 粘質土 7.5YR5/6 明褐色



1

2

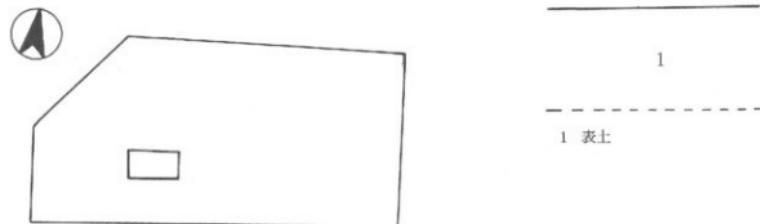
3

4

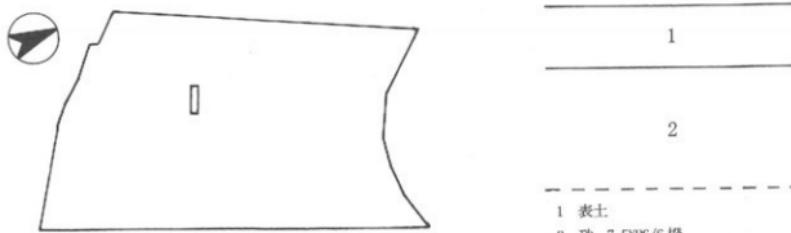
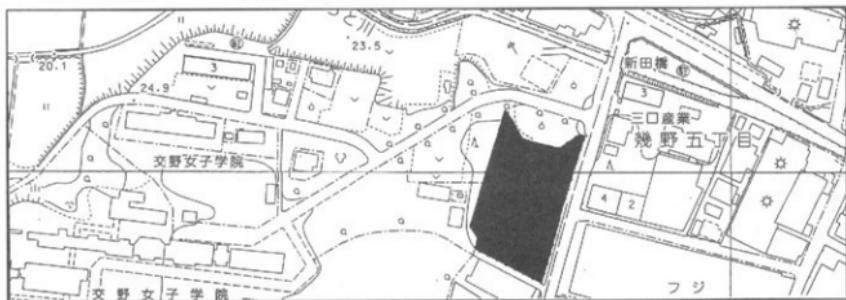
- 1 粘質土 7.5YR7/4 に5Y6/4 墓
- 2 シルト混粘質土 7.5YR6/4 に5Y6/4 墓
- 3 シルト 7.5YR2/1 黒
- 4 シルト混細砂 7.5YR2/1 黒

第5図 調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図（3）

交野郡衙跡 2007-1 次調査 (平面: 1/150 断面 縦: 1/20)

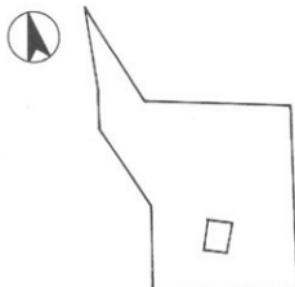


郡津渋り遺跡 2007-1 次調査 (平面: 1/1000 断面 縦: 1/40)



第6図 調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図 (4)

星の森遺跡 2007-1次調査（平面: 1/300 断面 縦: 1/20）



1

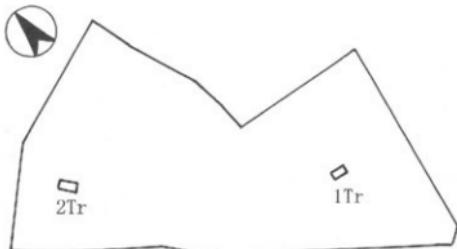
2

3

4

- 1 表土 3 粗砂混シルト 10YR5/4 [ぶい]黄褐色
2 耕作上 4 砂質土 10TR4/4褐

東倉治遺跡 2007-1次調査（平面: 1/900 断面 縦: 1/80）



1

2

- 1 表土
2 シルト 2.5Y8/2灰白

第7図 調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図（5）

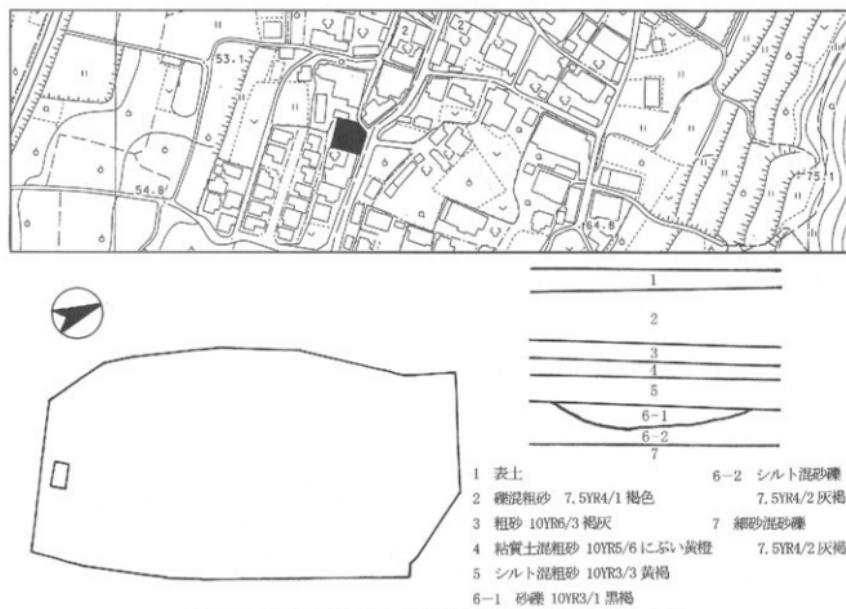


1	表土
2	砂礫混粘質土 10YR4/1 橙灰
3	砂礫混粘質土 10YR5/6 黄褐
4	砂礫混粘質土 10YR6/6 明黄褐
5	砂礫 10YR6/8 明黄褐

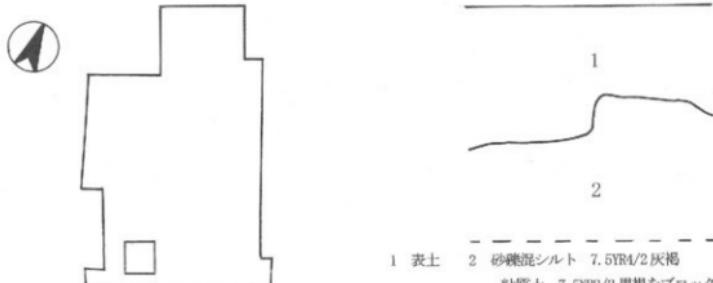


1	砂 7.5YR7/3 にみい 暗
2	粘土 7.5YR6/6 暗
3	砂質土 7.5YR5/6 明褐

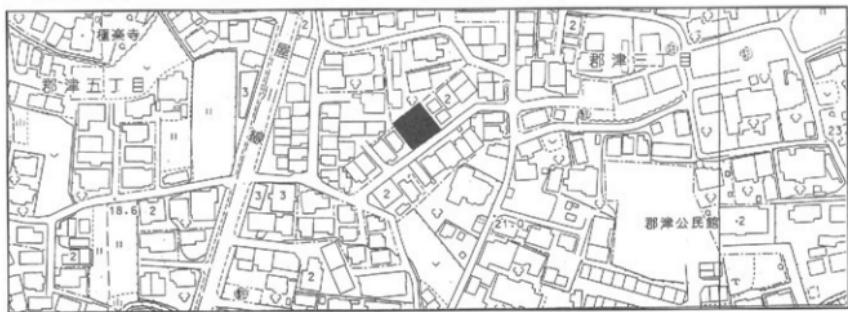
第8図 調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図（6）



第9図 調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図 (7)



1 表土 2 砂礫混シルト 7.5YR2/2 灰褐色
粘質土: 7.5YR2/2 黒褐色をブロック状に含む



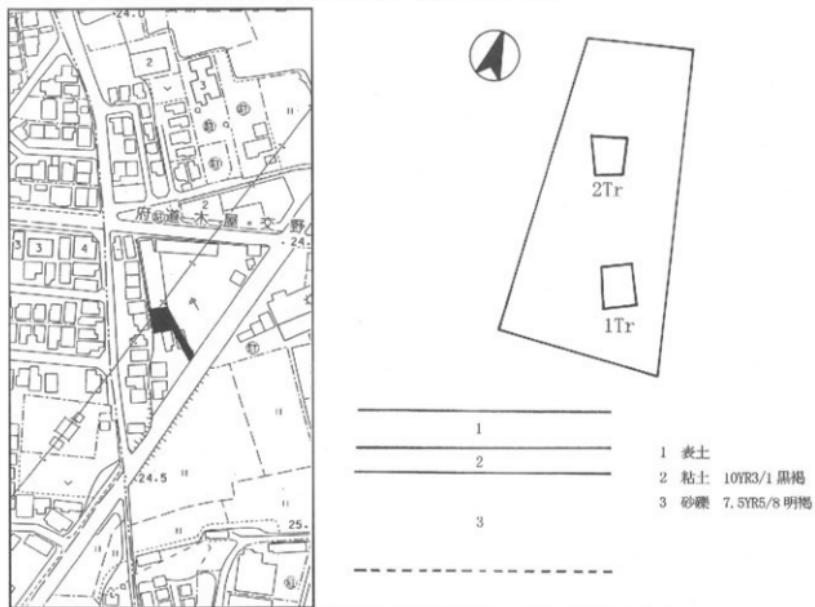
1 表土 3 砂礫 7.5YR3/3 暗褐色
2 砂礫 10YR4/3 に55%黄褐色 4 シルト 10BG5/1 青灰色

第10図 調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図（8）

交野郡衙跡 2007-4 次調査 (平面: 1/300 断面 縦: 1/20)

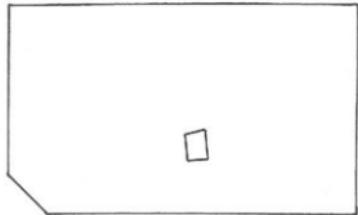


上の山遺跡 2007-1 次調査 (平面: 1/250 断面 縦: 1/40)



第11図 調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図 (9)

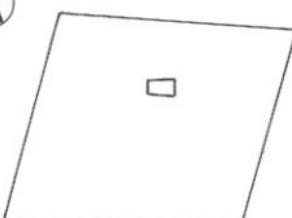
寺村遺跡 2007-1次調査 (平面: 1/250 断面 縦: 1/20)



1

1 表土

有池遺跡 2007-1次調査 (平面: 1/700 断面 縦: 1/40)



1

1 表土

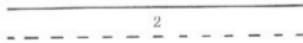
2 耕作土

3 シルト 10YR4/1 極灰

第12図 調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図 (10)



1



1 表土

2 粘土 10YR1.7/1 黒

第13図 調査地位置図・掘削位置図及び断面模式図 (11)

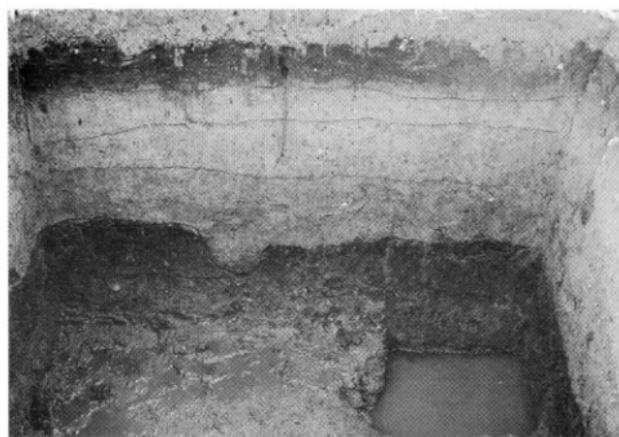
図 版



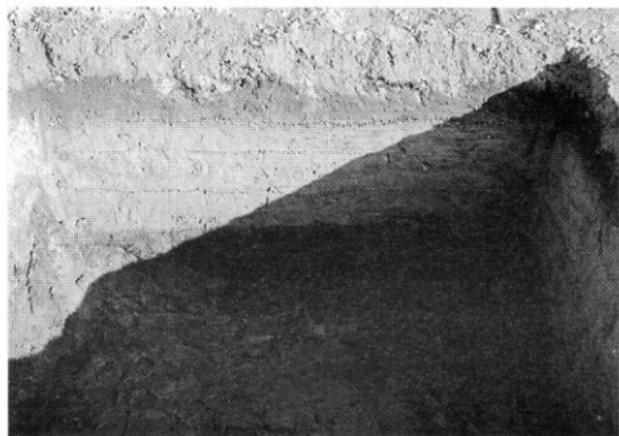
図版1 森遺跡 2007-3次 調査地



図版2 森遺跡 2007-3次 トレンチ全景



図版3 森遺跡 2007-3次 西壁断面



図版4 森遺跡 2007-3次 南壁断面

報告書抄録

ふりがな	へいせい 19 ねんどかたのしまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいよう							
書名	平成 19 年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要							
副書名								
巻次								
シリーズ名	交野市埋蔵文化財調査報告 2007-I							
シリーズ番号								
編著者名	小川暢子							
編集機関	交野市教育委員会							
所在地	〒576-0052 大阪府交野市私部 1 丁目 1 番 1 号 TEL (072)892-0121							
発行年月日	西暦 2008 年 3 月							
ふりがな	ふりがな	市町村		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
所収遺跡名	所在地	コード	遺跡番号					
森遺跡 2007-3 次	かたの こもりみなかみ 交野市森 南	27230	37	34° 46' 30"	135° 41' 25"	2007.7.31 ~ 2007.8.1	5.0	福祉施設 建設
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物	特記事項	
森遺跡	生産遺跡	古墳 中世		鋤溝 溝状造構 ピット		土師器片		

平成19年度 交野市埋蔵文化財発掘調査概要

発 行 日 2008年3月31日

編集・発行 交野市教育委員会

大阪府交野市私部1丁目1番1号

印 刷 所 京阪工技社

